

平成26年度病院立入検査重点項目

(病院内:)

I. 安全管理のための体制の確保等について

- 「X線CT装置等と植込み型心臓ペースメーカ等の相互作用に係る『使用上の注意』の改訂指示等について

X線CT装置によるX線の照射により部分的電氣的リセットが発生するとの報告がなされたことから、病院としてどのように対策を講じていますか。

- 医療機関における安全管理体制について(院内で発生する乳児連れ去りや盗難等の被害及び職員への暴力被害への取り組みに関して)

具体的にどのような対策していますか。

- 医療機関用・介護用ベッドのサイドレール・手すりによる事故について

「医療・介護ベッド安全点検チェック表」等を用いて安全対策を講じていますか。

- 医療用医薬品類似名称検索システムの公開について

販売名の類似性に起因する取り違え・誤使用等を防止するために活用していますか。

- 在宅酸素療法における火気の取扱いについて(注意喚起及び周知依頼) ※

在宅酸素療法を受けている患者やその家族等に対して、以下の内容を伝えていますか。

- 1) 高濃度の酸素を吸入中に、たばこ等の火気を近づけるとチューブや衣服等に引火し、重度の火傷や住宅の火災の原因となること。
- 2) 酸素濃縮装置等の使用中は、装置の周囲 2m 以内には、火気を置かないこと。特に酸素吸入中には、たばこを絶対に吸わないこと。
- 3) 火気の取扱いに注意し、取扱説明書どおりに正しく使用すれば、酸素が原因でチューブや衣服等が燃えたり、火災になることはないので、過度に恐れることなく、医師の指示どおりに酸素を吸入すること。

- 放射線治療器に係る使用上の注意の改訂について

「本装置による放射線(電磁波又は粒子線)治療により、治療室内に持ち込まれた医用電子機器(人工呼吸器、輸液ポンプ、心電図モニタ、パルスオキシメータ等)に影響が及ぶことがあることから、病院としてどのように対策を講じていますか。

- 医薬品等の誤飲防止対策の徹底について(医療機関及び薬局への注意喚起及び周知徹底依頼)

以下の内容を伝えていますか。

- 1) 患者の家族等、特に小児による誤飲が生じないように、処方または調剤にあたっては、医薬品を小児の手の届かない場所に保管するなど、適切な保管及び管理をするよう、患者及び家族等に十分注意喚起すること。
- 2) 高齢者等自ら医薬品の保管・管理が困難と思われる患者に対しては、家族等介護者に対して注意喚起を行うこと。

● 磁気共鳴画像診断装置に係る使用上の注意の改訂について

追加された【禁忌・禁止】事項を徹底していますか。

- 1) 金属を含む医療機器等が植込み又は留置された患者には、原則 MR 検査を実施しないこと。
- 2) 金属を含む医療機器等を MR 検査室に持ち込まないこと。

● 単回使用医療機器(医療用具)の取り扱い等の再周知について ※

● 単回使用医療機器の取扱いの周知徹底について ※

添付書類に「再使用禁止」と明記された器具を使用する場合、その確認、周知など具体的な対策をしていますか。

キ) 病院における吹付けアスベスト(石綿)対策の取組について

既に対策済みである ・ 未対策

Ⅱ. 院内感染防止対策について

ア) 院内感染の標準的予防策の徹底について ※

個人用防護具(手袋、マスク等)の適正使用、処置前の手指消毒の励行等の院内感染の標準的予防策が、職員に対して徹底していますか。

確認事項

『透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル(三訂版)』の周知について	
多剤耐性アシネトバクター・バウマニ等に関する院内感染対策の徹底について	
医療機関等におけるインフルエンザ対策の徹底について	
医療機関等におけるノロウイルスの予防啓発について※	
腸内細菌科のカルバペナム耐性菌について(情報提供及び依頼)	
歯科医療機関における院内感染対策について※	
医療機関等において多剤耐性菌によるアウトブレイクを疑う基準について※	

● 歯科用ハンドピースの滅菌処置について ※

滅菌処置について検討をしましたか。

● 医療機関等において多剤耐性菌によるアウトブレイクを疑う基準について

アウトブレイクを疑う基準の見直し、保健所への報告等必要な対策は検討しましたか。

Ⅲ. 最近の医療機関における事件等に関連する事項について

ア) 食中毒対策について

食中毒発生時における患者への給食の確保等について検討していますか。

● ノロウイルスによる食中毒の発生予防について

- 1) 不顕性感染者の存在を前提とした対策。
 - 2) 従事者は、施設で調理した食品を喫食しない原則。
- は、徹底していますか。

イ) 無資格者による医療行為等の防止について

病院の人事で無資格者を採用しないシステムを講じていますか。

ウ) 診療用放射線の安全管理対策の徹底について

医療法施行規則第 24 条に定める診療用高エネルギー放射線発生装置(直線加速器等)、診療用放射線照射装置(ガンマナイフ等)、診療用放射線照射器具等に関する安全管理対策については、近年の直線加速器等による過剰照射事例の発生に鑑み、関係法令の遵守、自主点検の実施、照射量設定のダブルチェックの励行等、診療用放射線の安全管理体制が徹底されていることを確認していますか。

エ) 職員の健康管理について ※

全職員が関係法令に基づいた定期健康診断を受診していることを確認するとともに、特に結核に関する健康管理を徹底していますか。

オ) 診療システム(電子カルテ)不具合による薬剤誤投与について

医療情報システムについて、導入時に入念な検証を行うとともに、定期的に内部監査を実施する等、当該機器が正常に動作するよう適切な管理を行い、誤作動を認めた場合は、速やかにシステム管理業者に連絡を行う体制は構築されていますか。

カ) 防火対策について

火気の取扱いについては、職員のみならず患者・付添人に対しても注意を喚起し、火災発生の未然防止に努めていますか。「病院等における防火・防災対策要綱について」の確認

キ) 医療機関における個人情報の適切な取扱い等について

医療機関における個人情報の取扱いについては、個人情報が入ったパソコン等の盗難・紛失事件の頻発を受けて、平成23年6月に再周知したところであるが、最近USBメモリの紛失等が頻発していることから、必要に応じて、個人情報の適切な取扱いに関する関連のガイドラインについて医療機関に改めて周知し、個人情報が適切に取り扱われるよう徹底していますか。